

テーマ

外食チェーン企業の分析

- 全国トップレベルの売上高を誇る
外食チェーン企業各社の経営効率性を
包括分析法(DEA)により分析

背景

- 外食産業の市場規模： 26兆9118億円 (2001年)
前年比1.5%減
- 外食産業全体としては4年連続減少
- 個人経営など小規模店が苦戦する一方、
- チェーン店展開をし、著しい成長をつづける企業も有
ex. 前年比売上高伸び率
スターバックス62%、大戸屋45%

企業選定の条件

- (1) 売上高が上位にランクされている
- (2) 全国広域にわたるチェーン展開
- (3) 外食産業内ではジャンルを問わない
- (4) 上場企業である(データの公表の問題)

分析対象の企業

20社(略称で表記)

ドトールコーヒー	デニーズ
スターバックス	王将
マクドナルド	ジョナサン
KFC	サイゼリヤ
モスバーガー	木曽路
吉野家	グルメ杵屋
小僧寿し	サンデーサン
壺番屋	ジョイフル
松屋	サンマルク
すかいらーく	大戸屋

20社の基本データ

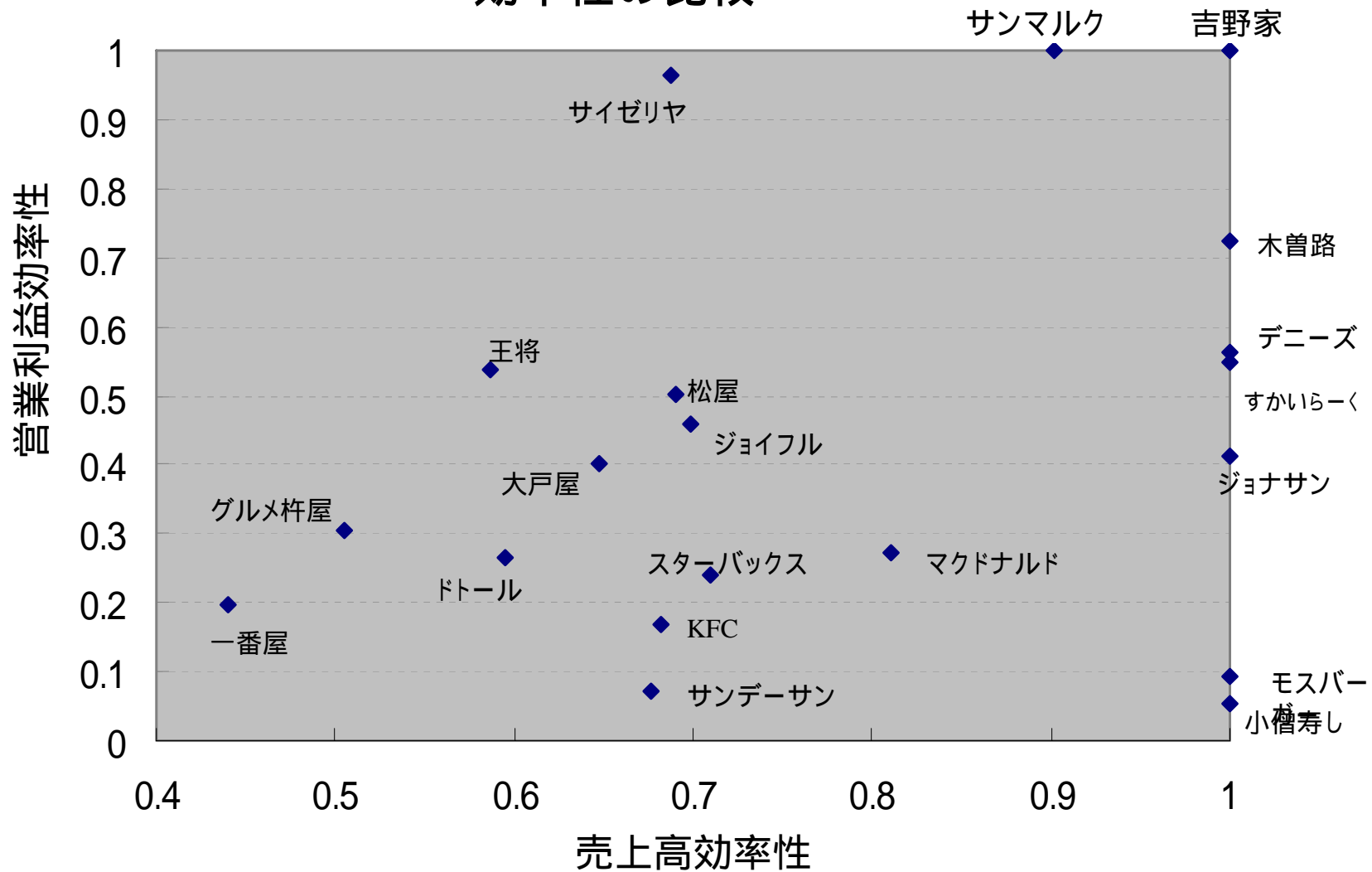
会社名(略称)	社員数(人)	店舗数	売上高(百万円)	営業利益(百万円)
ドトール	801	1,131	50,033	4,253
スターバックス	1,448	344	47,557	1,530
マクドナルド	5,285	3,822	361,672	19,299
KFC	1,058	1,420	75,487	3,510
モスバーガー	496	1,551	54,708	1,067
吉野家	849	849	87,960	15,715
小僧寿し	96	1,466	10,921	119
壱番屋	603	725	27,634	2,295
松屋	946	448	43,861	4,165
すかいらーく	4,010	1,982	275,363	20,180
デニーズジャパン	1,915	542	99,098	5,629
王将	1,053	441	39,174	4,396
ジョナサン	921	321	53,865	2,440
サイゼリヤ	1,241	474	51,886	8,451
木曾路	1,080	159	38,359	2,132
グルメ杵屋	923	567	35,862	3,210
サンデーサン	873	339	36,164	453
ジョイフル	700	389	35,631	3,307
サンマルク	103	225	9,975	2,384
大戸屋	226	83	8,756	617
平均	1,231	864	72,198	5,258

データソース：日経流通新聞(2002.4.25)第28回2001年度飲食業調査を参考

20社の効率値

会社名	売上高効率性		営業利益効率性	
	CCR	BCC	CCR	BCC
ドトール	0.595	0.601	0.264	0.274
スターバックス	0.709	0.716	0.240	0.374
マクドナルド	0.810	1.000	0.273	0.641
KFC	0.682	0.682	0.167	0.189
モスバーガー	1.000	1.000	0.093	0.207
吉野家	1.000	1.000	1.000	1.000
小僧寿し	1.000	1.000	0.054	1.000
壱番屋	0.440	0.481	0.197	0.279
松屋	0.690	0.716	0.502	0.583
すかいらーく	1.000	1.000	0.550	1.000
デニーズ	1.000	1.000	0.561	0.615
王将	0.587	0.615	0.539	0.617
ジョナサン	1.000	1.000	0.411	0.542
サイゼリヤ	0.687	0.693	0.963	1.000
木曽路	1.000	1.000	0.724	0.998
グルメ杵屋	0.505	0.544	0.306	0.378
サンデーサン	0.676	0.714	0.072	0.255
ジョイフル	0.698	0.750	0.459	0.563
サンマルク	0.902	1.000	1.000	1.000
大戸屋	0.648	1.000	0.402	1.000
平均	0.781	0.826	0.439	0.626

効率性の比較



分析結果 1

- 吉野家

積極的な値下げ、客単価下がるも
客数の増加で売上を補う戦略

加えて、店舗経費削減

結果、売上・営業利益は前年より増



分析結果 2

■ サマルク

一時期の低迷から

客アンケート重視、徹底した顧客重視

注文後、すぐにスープとパン

メニュー数減らし、効率重視

不採算店の閉鎖も積極的

客単価は下がるが、来客数増

売上高・営業利益 前年度比 大幅増

顧客満足度 1位(週刊ダイヤモンド)